



自治連だより

第40号

平成30年8月10日

発行：伊丹市自治会連合会

編集：広報委員会



昆陽寺前緑地コミュニティ花壇 ～「和み花ひろば」～

“足早に 過ぎし日々を ここに来て
一輪の花 こころ安らぐ”

花里ブロック 寺本自治会

○自治会加入世帯：470世帯（平成30年4月1日現在）

○会長：中島 俊一さん、副会長：文野 喜代子さん

花壇を地域の憩いの場にしたい

－コミュニティ花壇を始めたきっかけ－

文野：はじめは、草を引き石ころを除く作業ばかりでありましたが、努力の甲斐あり2年目には自治会の費用で花を少し植えることができるようになりました。自治会役員により、自然たい肥づくり、土壌改良、植付け、水やり、除草作業と365日休むことなく丹念に手入れをしまっていました。はや、十数年の月日が過ぎ、お陰様で数多くの賞をいただきました。この昆陽寺前緑地コミュニティ花壇は別名「和み花ひろば」と言います。市民の皆様が、目まぐるしい日常生活の中で、ほんの少しほっとする気持ちになれる、そんな花壇づくりを心がけています。



（写真左より）インタビューにご協力いただいた
永村さん、日下部さん、村上さん、安井さん、文野さん



苦労も多かったが、 多くの自治会の方々が協力してくれた

－花壇の手入れは、結構苦労しているんじゃないですか－

文野：始めた頃はどんな花を植えたらいいだろうか？みんなが参加してくれるのだろうか？など悩みもありましたが、地域で無理ないローテーションで取り組んだ結果、悩みの種は吹き飛びました。

今は経験値も上がり、上手く花壇を作ることができるようになったと思います。年2回、花の植え替えをしています。

自治会員及び役員が協力して行っています。

地域一体となって、市民の方々の心が癒される、花壇づくりをモットーに楽しく活動しています。

「自治会の回結力」＝「花」

－活動を続ける秘訣や今後について－

文野：植物相手なので大変ですが、時間と労力をかけて地域が植えた花で憩いの場になり、皆様が喜んでもらえることが活動を続ける秘訣です。

自治会としては、今後も愛着ある憩いの場（和み花ひろば）になるよう継続したいです。ぜひ、憩いの場にお越しください！！



【受賞歴】（一部抜粋）
平成19年 いたみ花と緑の花壇コンクール 最優秀賞
平成22年 伊丹市都市景観賞
平成29年 ガーデンコンペ・ひょうご 最優秀賞（兵庫県議会議長賞）

ごみステーションの カラス対策の取り組み

南ブロック 林自治会

○自治会加入世帯：270世帯（平成30年4月1日現在）

○会長：中村 博さん



ごみステーションでの カラス被害を減らすには

－カラス対策に力を入れ始めたきっかけは－

中村：自治会内のごみステーションでカラス被害が多発していました。当初は、市から供給されているカラス除けネットを設置し、ごみを覆うなどの対策を取り、効果が出ていました。しかし、徐々に効果が薄れてしまい、このままではごみステーションの環境を維持できないと思い、対策に乗り出しました。

－どのような被害があったんでしょうか－

中村：覆っていたネットをカラスがめくりあげ、ごみが散乱する。地域住民が、散乱したごみを片付けている最中にカラスに威嚇されるなどがあります。また、特に繁殖期の4月から6月頃には、カラスが神経質になり、警戒心を強め、ギャーギャーと鳴き騒ぐことがありました。

－どのような対策を実施しているんでしょうか－

中村：畦板とネットに対策をとっていましたが、時間とともに効果が薄れてきたため、地域住民と話し合い、対策を考えました。まずは、ネットに加えて、すだれにおもりをつけて覆い、カラスが持ち上げることができないような対策を実施しました。また、今年4月からは畦板をブルーシートで覆い、ごみを見えなくする対策などを実施しています。ブルーシートが重すぎるとごみ当番の方やごみを捨てる方が持ち上げるのに苦労するので、できるだけ軽量のものを使うようにしています。非常に苦労は多かったですが、地域住民で色々な試行錯誤の結果、今のところカラスの被害は減少しています。

－日頃から気をつけていることは－

中村：お金を使えば更に効果がある対策をとれるかもしれませんが、予算にも限りがあるので知恵を絞るようにしています。今のところ効果はありますが、カラスも賢い動物なのでごみ被害が再発する可能性もあり、日頃から地域の自治会員が見守り、活動を継続的に実施することが大切だと思います。

－最後に－

中村：カラス対策は一時しのぎではダメだと思います。継続的に対策するためにも、日頃から地域の自治会員と話し合いを行い、見守りなどの活動を通して啓発できる雰囲気・自治会づくりが必要だと考えています。



インタビューにご協力いただいた
林自治会 会長 中村 博さん



畦板とブルーシート対策



カラス被害を受けるごみステーション

平成30年度 定期総会

去る5月30日、スワンホールにおいて、平成30年度伊丹市自治会連合会定期総会を開催し、役員の変更案や平成30年度の事業計画案など計3つの議案について、承認されました。また、退任される自治会長等への表彰も併せて行われました。

新たな役員の下、事業計画に基づき、自治会連合会として今年度の活動を行って参ります。

※三役・各委員会からのメッセージは4ページに記載しておりますので是非ご覧下さい。



新三役および事務局長

会長	榎木 光夫 (天神川・鶴田)
副会長	市川 伊久雄 (鈴原・西御願塚)
	矢野 天正 (昆陽里・日生住宅)
	伴 博夫 (有岡・湊町)
	宮内 正次 (笹原・笹北)
	長澤 孝 (池尻・西野西)
会計	佐々木 憲治 (伊丹・光明町)
事務局長	岩田 武司 (稲野・千僧) ※敬称略

新任自治会長研修会 & 自治会長交流グラウンドゴルフ大会開催報告

去る5月17日、新任自治会長研修会を開催しました。この研修会は、地域や行政の組織、自治会長が知っておく役立つ情報等について学ぶ場として、新たに自治会長になられた方を対象に、平成27年度より開催しています。

研修会も回数を重ねてきたことから、今年度は当連合会の総務委員会を中心に、大幅に資料の見直しを実施いたしました。

参加者の皆様からは、「参考になり、参加してよかった」等の声が聞かれましたが、まだまだ改善すべき点もあることから、来年度以降も引き続き内容を見直しながら、より良い研修となるように努めていきます。

また、6月2日には伊丹小学校校庭にて、自治会長交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。ホールインワンも多数飛び出し、大いに盛り上がり、楽しい交流の場となりました。



写真左【新任自治会長研修会】
(研修の様子)
写真右【自治会長交流グラウンドゴルフ大会】
(大会上位入賞者の方々と榎木会長)

“各地域の活動”を市HPや市Facebookに掲載しています。

地域活動を広報するため、市HP（ホームページ）及び市Facebookに各地域の活動を掲載しています。

随時受付をしておりますので、掲載を希望される方は、市まちづくり推進課（市役所1階、TEL：780-3533）まで情報のご提供をお願いします。

※掲載対象は、自治会・地区社協等の地域団体の活動や広報誌となっております。個人の活動はご遠慮下さい。

市HP（ホームページ）へのアクセスは

伊丹 各地域の活動

検索

市Facebookへのアクセスは

伊丹 Facebook

検索



【写真上】
市HP（ホームページ）での掲載

【写真下】
市Facebookでの掲載



三役・各委員会よりメッセージ

“地域のつながり”の大切さ

大阪北部地震及び西日本豪雨にて被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、自治会長はじめ地域の皆様には、平素から地域活動にご理解・ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、先般5月30日の定期総会におきまして、会長を拝命いたしました。微力ではありますが、新たに役員に就任された方々と共に当連合会、各自治会の発展のために尽力して参ります。

現在、自治会は加入率の減少や、役員の担い手不足等の課題に直面していますが、この度の災害を通して、地域のつながりや近隣住民の助け合いの重要性を感じられた方も多いのではないのでしょうか。

当連合会においても、これらの課題を解決し、皆様が地域のつながりをより実感できるよう、行政とも連携しながら研究を深め、取り組んで参ります。

最後になりますが、引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



伊丹市自治会連合会 会長 榎本光夫
(天神川ブロック・鶴田自治会長)



【副会長】市川伊久雄
(総務委員長)
(鈴原ブロック・西御願塚自治会長)

総務委員会では、研修事業や交流事業を中心に実施することで、各自治会長さんの見聞を広めたり、他の自治会長さんとの情報交換や交流を深める「場」の提供を行ってまいります。この事により、それぞれの自治会の発展に寄与できれば幸いです。よろしくお願いいたします。



【副会長】長澤孝
(広報委員長)
(池尻ブロック・西野西自治会長)

広報委員会では、当連合会の広報誌「自治連だより」を年3回発行しています。

お住まいの地域で「これはとても良い取り組みだ！」と思われる活動等があれば是非、情報提供をよろしくお願いいたします。



【副会長】矢野天正
(環境委員長)
(昆陽里ブロック・日生住宅自治会長)

昨年に引き続き、食品ロスに取り組む資源となる紙のリサイクルを目指し、減量化を進めます。また、減量の数値については回覧やチラシ等で皆様に情報提供を行い、ごみの減量化や再資源化を啓発して参ります。ご協力よろしくお願いいたします。



【副会長】伴博夫
(福祉委員長)
(有岡ブロック・湊町自治会長)

西日本豪雨では、自治会役員の声掛けにより、大きな被害を免れた地域があると聞いて、あらためて顔の見えるつながりが重要だと感じました。

今年度は災害時対応も念頭においた自治会の福祉対策について議論を深め自治会活動の一助となるよう推進していきたいと思ひます。



【副会長】宮内正次
(生活安全委員長)
(笹原ブロック・笹北自治会長)

今年度の事業目標「市民が安心して暮らせるまちづくりに努める」を基本として、市民の安全に関する意識の高揚を図るため、地域における連帯意識を高め、子どもの安全をはじめとする生活安全活動を積極的に推進していきます。よろしくお願いいたします。



【会計】佐々木憲治
(伊丹ブロック・光明町自治会長)

今年度から会計を担当いたします。よろしくお願いいたします。

各委員長と疎通を図り、簡素化と効率的な会計運営を目指し、健全な経費執行並びに適正な会計事務に取り組んで参ります。



【事務局長】岩田武司
(稲野ブロック・千僧自治会長)

西日本豪雨では、「まだまだ大丈夫だろう」と思っていたら、逃げ場を失ったという話が数多く聞かれました。

災害とは違いますが、日頃の業務にあたっても、思いもしない結果を招かないよう、“より慎重な判断”を心がけたいものです。

自然災害への備えにぜひご加入を！ 兵庫県住宅再建共済制度（＝フェニックス共済）

住宅再建共済制度		家財再建共済制度		定額給付で安心！
区分	負担金	被害認定	給付金	 フェニックス サポーター 助けて
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円	
	年額500円追加	一部損壊 ※2	最高25万円	
家財再建共済 ※1	年額1,500円	床上浸水以上	最高50万円	

※1 住宅再建共済と家財共済の両方にご加入の場合、最大500万円負担金が割り引きになります。
※2 損害割合10%以上

お問い合わせ先 フェニックス共済 検索
(公財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400 (平日9時～17時)
阪神北県民局フェニックス共済担当 ☎0797(83)3122 (平日9時～17時)